

避難器具概要表											
防火対象物の概要											
名称					所在						
用途					階数(階層)	地上	階	地下	階	塔屋	階
主要構造部	耐火構造・準耐火構造・その他()				延べ面積		m ²				
避難器具の概要											
階別	床面積	用途	収容人員	無窓該当	階段の数	減免数	設置数	避難器具の種別(個数)		良	否
								は()・す()・口()・棒()・橋()・タ()			
								は()・す()・口()・棒()・橋()・タ()			
								は()・す()・口()・棒()・橋()・タ()			
								は()・す()・口()・棒()・橋()・タ()			
								は()・す()・口()・棒()・橋()・タ()			
								は()・す()・口()・棒()・橋()・タ()			
								は()・す()・口()・棒()・橋()・タ()			
								は()・す()・口()・棒()・橋()・タ()			
								は()・す()・口()・棒()・橋()・タ()			
避難器具の種別											
認定番号等		第 ~ 号		第 ~ 号		第 ~ 号		第 ~ 号			
設置場所の状況 (用途、構造等)											
開口部の大きさ 縦 × 横 (cm)		_____ × _____		_____ × _____		_____ × _____		_____ × _____			
腰高 (cm)		_____ cm		_____ cm		_____ cm		_____ cm			
操作面積		_____ m ²		_____ m ²		_____ m ²		_____ m ²			
降下空間の障害		有 無		有 無		有 無		有 無			
固定位置											
固定方法											
固定部材にかかる 設計荷重 (kN)		_____ kN		_____ kN		_____ kN		_____ kN			
固定部材の許容 応力 (kN)		_____ kN		_____ kN		_____ kN		_____ kN			
その他											

備考1 避難器具の種別(個数)欄は、「は」は避難はしご、「す」はすべり台、「口」は避難ロープ、「棒」はすべり棒、「橋」は避難橋、「タ」は避難タラップを表し、避難器具の種別の後の()内にそれぞれの種別ごとの設置個数を記載すること。

2 項目中の 欄は、該当するものを✓印で、アンダーライン部分及び欄中には該当する内容を記入すること。

3 良否欄は、記入しないこと。

4 本概要表は、避難器具試験結果報告書の添付をもって代えることができる。